

決算審査すすむ



農業問題を総選挙の争点に

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

今、令和5年度の決算審査がすすんでいます。最終日は10月11日の本会議で決算認定の採決が行われます。今回は米原市の農業振興支援事業の決算結果について市から提出された「主要施策の成果説明書」に基づき掲載します。食料自給率を高め、国民の食料を守ることは国の重要課題です。農家が安心して生産し、国民に安定的に農産物を供給できる農政を実現する施策は、総選挙の争点として重要課題です。

令和5年度行った農業支援

市より説明のあった令和5年度の農業振興支援の主な事業については次のような事業の説明がありました。主な物は、

(1) 中山間地域等の農作物の生産条件が不利な地域での農業生産活動を支援する。

(2) 新たな担い手または担い手を支える支え手となる農業従事者の掘り起しと育成のため「まいばら農業塾」を実施。

(3) 環境こだわり農産物の生産に合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に対する支援。

(4) スマート農業技術の導入・普及を推進することで、農

作業の省力化、効率化、生産性の向上を図り、持続可能な地域農業の実現。

(5) 市内において新たに農業を営もうとする新規就農者に対し、研修受入事業の実施や農業次世代人材投資資金等を交付すること。

(6) 地域の農業の将来の在り方や、農地の総合的な利用に關し「地域計画」の策定に對する支援。

(7) 地域農業の担い手である中小規模農業者の機械導入費用を支援。

(8) 必要な機械、施設の導入を支援することで、集落営農組織の活性化。

事業の実績・成果

事業実績と成果（補助金

農業振興関係の補助金・交付金等	件数（前年度）	金額（円）（前年度）
中山間地域等直接支払交付金	9 (9)	31,740,114 (33,069,413)
農業再生協議会補助金	1 (1)	8,402,000 (9,647,920)
伊吹そば種子確保・安定生産支援補助金	3 (3)	2,864,000 (2,994,000)
環境保全型農業直接支払交付金	13 (13)	6,770,420 (6,892,600)
病虫害防除協議会補助金	1 (1)	1,814,000 (1,750,000)
スマート農業技術導入支援補助金	3 新規	2,984,000
園芸作物生産振興事業補助金	5 (7)	3,218,000 (1,858,000)
機構集積協力金	8 (20)	1,116,600 (2,885,600)
農業次世代人材投資資金	3 (4)	4,500,000 (6,000,000)
新規就農者等支援費補助金	2 (4)	720,000 (1,440,000)
中小規模農業者機械導入支援事業補助金	22 (15)	14,413,000 (9,922,000)
農地利用効率化等支援事業補助金	1 新規	3,000,000
集落営農活性化プロジェクト促進事業補助	2 新規	12,091,000

(1) 「まいばら農業塾」では、17人の参加者全員が修了式を迎え、自ら農地を借りて野菜づくりを続ける方や、農業大学校に入学した方がいたほか、市外からの参加者には移住を決めた方、空家バンクへ相談に向かった方もいたことから担い手育成に係る農業の入り口だけでなく、農村としての米原市の魅力を発信する機会とすることができました。

(2) スマート農業補助金では、ドローンやロボット防除機等の導入により、農作業の省力化、効率化および生産性の向上が見られました。

(3) 中小農業者機械導入補助金も大きく伸びています。

補助金が受けられないケースも

ある農業者は、今年春の農作業中田植え機が作業途中で故障し、緊急に購入せざるを得ませんでした。農機具業者に無理を言い、何とか購入できました。後から補助金があることを聞き、市に相談に行きましたが、購入後の補助金はないと言われた。今ほとんどの農家では、古い機械をだましまし使っている。計画的に更新など出来ない。

市は、このような農家に事情を十分汲んで、補助金の運用について考えてほしい。広報等もしっかりやってほしいとの農業者の声がありました。

